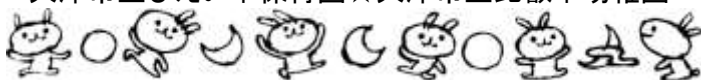




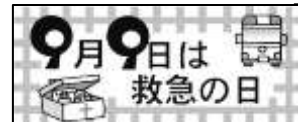
令和3年9月1日 やまのこひろば

大津市立ひえい平保育園☆大津市立比叡平幼稚園



8月は大雨の影響で全国的に洪水や土砂災害による被害がたくさんありました。やまのこひろばでも、災害の影響が心配されていましたが、大きな被害はなく、子ども達も毎日元気に登園しています。しかし、8月の後半は雨の影響で、プール遊びなどの外遊びがあまりできませんでした。でも、室内でも子どもたちは元気に体操やリズムなどを楽しんでいました。

新型コロナウイルス感染症については、全国的に感染が拡大し、8月27日(金)には滋賀県でも緊急事態宣言が発令されました。感染予防にもさらに気を抜けない状況が続いています。園内でも、手洗い・消毒・換気、密を避けるなどの徹底で、今まで以上に感染予防に努めて過ごしていきたいと思ひます。ご家庭でも疲れを残さないように、栄養と睡眠をしっかりとり、手洗い、マスクなどの感染予防に努めていただき、お子さんが元気に登園できますようにご協力をお願いします。



救急とは、急病やけがの応急手当をすることです。大きな病気やケガだけでなく、すり傷や切り傷の手当ても「救急」の仲間です。正しい応急手当を覚えて、ケガのときに実行できるようにしておきましょう。また、処置の後も、状態が悪くなるようなら、医療機関へ受診しましょう。

自分でできる 応急手当の基本は3つ

洗う

すり傷 目にゴミが入った

水道の流水で、傷口を洗い流す。 洗面器の水の中で、まばたきをする。

知恵 薬品がかかったり、動物にかまれたりしたときも、まず流水で洗います。

冷やす

やけど 突き指・打撲

水道の流水で、高みがおさまるまで。 氷を入れたビニール袋で、20分間。

知恵 やけどの範囲が広いときは、服の上から水をかけて冷やします。

押さえる

切り傷 鼻血

清潔なハンカチなどを傷口に当てて。 顔を下に向け、鼻をつまむ。

知恵 鼻血の手当てをしている間は、ゆっくりと、口で呼吸します。

こんなときは 医療機関へ

- 痛くて動かせない。
- 変色したり、変形したりしている。
- 出血量が多い。
- 気分(顔色)が悪い。
- 冷や汗が出ている。

応急手当の後も 状態をチェック

- 傷口の汚れを洗い流して、きれいにする。
- 傷をつけずに、異物を取る。
- 水道水の塩素には、消毒の効果も。
- やけどをした部分の温度を下げる。
- 腫れや痛みをおさえる。
- ケガの回復を助ける。
- 圧迫することで、傷ついた血管の修復を助け、止血を早める。
- 下を向いて、のどに血が流れるのを防ぐ。

何のために？

- ⚠ 傷の状態(痛み、腫れ、変形)や傷口の変化に注意。
- ⚠ 時間経っていても、「何かおかしい」と思ったら、病院へ受診しましょう。

9月の身体計測

にじ	6日(月)
ほし	7日(火)
そら	8日(水)
きりん	9日(木)
ひよこ・うさぎ	9日(木)

～保健室より～

8月のやまのこひろばでは、月末にかけて微熱などの体調不良で欠席されたお子さんが少数おられました。ほとんどのお子さんは、元気に登園することができました。

これからの時期は、夏の疲れが出やすく、体調を崩しやすくなります。9月は涼しい日も増えてきますが、まだまだ残暑も厳しく、熱中症などの暑さ対策も必要になります。気温の変化の激しい時期になりますので、体調を崩さないように気をつけましょう。また、これからは園庭などで身体を動かして遊ぶ機会も多くなってきます。早寝早起き朝ごはんなどの規則正しい生活を心がけ、毎日、元気にケガなく過ごせるようにしてほしいと思ひます。

◇足に合うくつを選びましょう◇

子どもの足は非常にデリケートと言われています。最近、土踏まずのアーチが形成されていない扁平足の子どもの数が増えたとされていますが、その原因の一つに「間違ったくつ選び」があります。足に合っていないくつを履いていると、姿勢が悪くなりやすく、そのまま骨格が形成されてしまうこともあります。また、ケガも起こりやすくなります。足に合ったくつを選んで、健康・安全に遊ばせてあげましょう。

◇くつ選びのポイント◇

- ◆ かかととは硬くしっかりしていますか？
かかと部分をしっかり支えることで、安定した歩行ができるようになります。かかとが簡単にねじれてしまう靴は柔らかすぎます。
- ◆ 靴底は硬すぎず、弾力性がありますか？
適度な弾力が衝撃をやわらげます。靴底が曲がりやすいものを選びましょう。子どもはよくつまずくので、つま先が少し反り返っているものがこけにくいです。
- ◆ 足の幅や甲の高さはありますか？
足にあわせて調節できるマジックテープの靴がおすすです。
- ◆ つま先にゆとりがありますか？
指が動かせる余裕のあるものを選びましょう。目安は、かかとに子どもの指が1本入る程度です。

正しいマスクのつけ方

マスクを正しく着用することで、予防の効果がUPします！
お家でもお子さんと一緒に、正しくつけられているか確かめて
みてください。



① 鼻と口の両方を
確実に覆う



② ゴムひもを
耳にかける



③ 隙間がないよう
鼻まで覆う